

冬季間の クマの出没に ご注意ください

クマは通常、冬になると冬眠しますが
稀に活動することもあります。



クマの被害に遭わないために

引き寄せない

人家の庭先や集落内に「柿」「栗」などがあり、収穫せず冬季間も放置されている場合は、クマが実を食べるため出没する場合があります。生ごみや放置された果樹は、適切に処分するようしましょう。

冬眠穴に近づかない（山に入らない）

クマは、人里近くの山林の岩穴や木の洞などでも冬眠します。冬眠穴に近づいてしまうと、クマが穴から出てくることがあるため、必要が無ければ山に入らないようにしましょう。

もしかしたら…を意識する

「もしかしたら…クマがいるかもしれない。」

「もしかしたら…クマが柿を食べに来るかもしれない。」

これらを普段から意識し、クマに会う可能性を出来る限り減らすよう心がけましょう。



クマの冬眠

クマは通常、冬季間は冬眠し春まで活動しませんが秋のドングリ等が不作となり、エサ不足となった年や暖冬の年に、積雪があっても稀に活動する個体がいます。

クマに関するお問合せ

喜多方市

市民生活課 有害鳥獣対策室 0241-24-5261 热塩加納総合支所住民課 0241-36-2113

塩川総合支所住民課 0241-27-2400 山都総合支所住民課 0241-38-3821 高郷総合支所住民課 0241-44-2113